

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

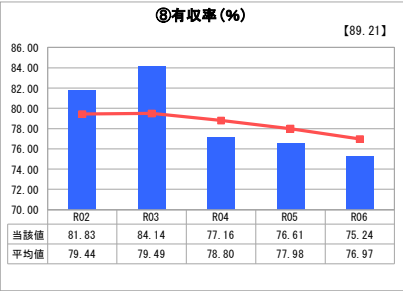
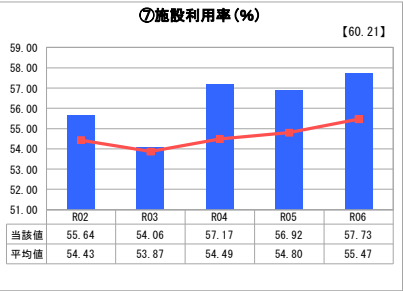
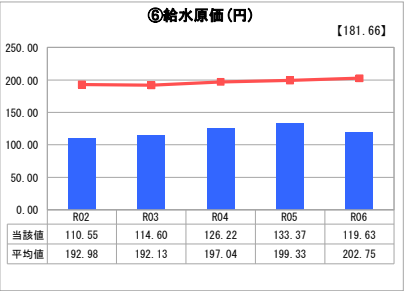
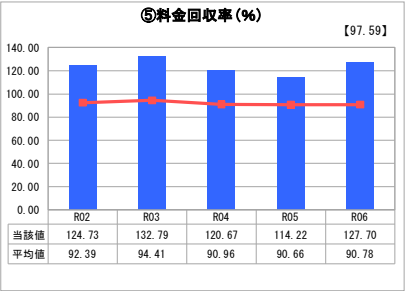
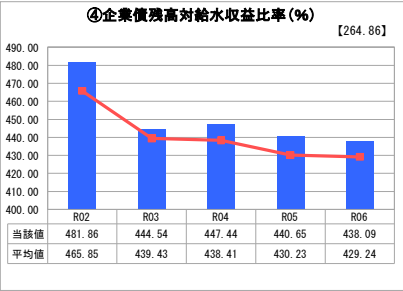
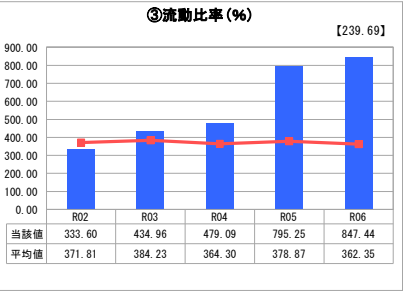
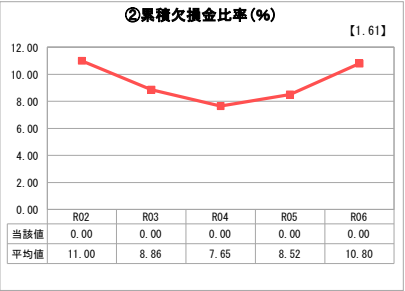
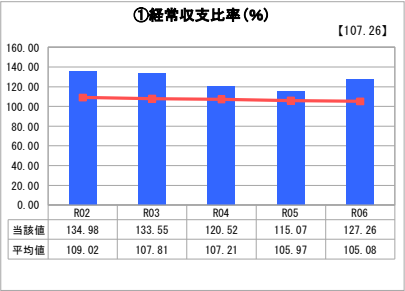
鳥取県 北栄町

| 業務名       | 業種名         | 事業名    | 類似団体区分                         | 管理者の情報 |
|-----------|-------------|--------|--------------------------------|--------|
| 法適用       | 水道事業        | 末端給水事業 | A7                             | 非設置    |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 普及率(%) | 1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円) |        |
| -         | 69.45       | 99.27  | 3,025                          |        |

| 人口(人)     | 面積(km <sup>2</sup> )     | 人口密度(人/km <sup>2</sup> )   |
|-----------|--------------------------|----------------------------|
| 14,127    | 56.94                    | 248.10                     |
| 現在給水人口(人) | 給水区域面積(km <sup>2</sup> ) | 給水人口密度(人/km <sup>2</sup> ) |
| 13,937    | 56.94                    | 244.77                     |

| グラフ凡例          |
|----------------|
| ■ 当該団体値（当該値）   |
| — 類似団体平均値（平均値） |
| 【】 令和6年度全国平均   |

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

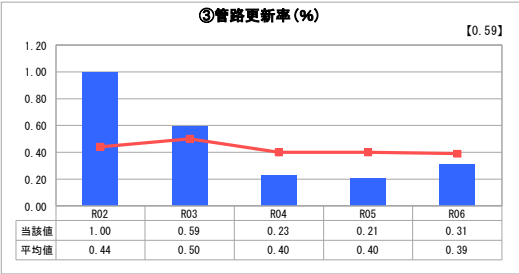
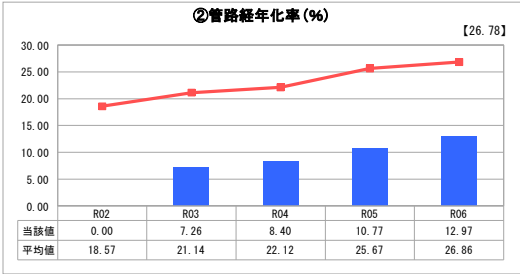
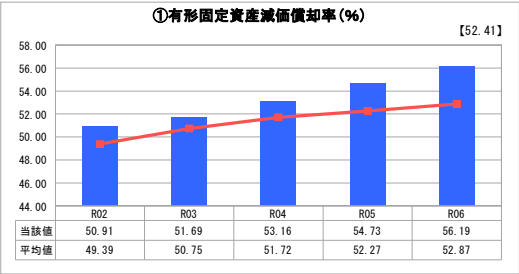
### 1. 経営の健全性・効率性について

本町の水道事業は、「①経常収支比率」と「⑤料金回収率」の数値より、給水収益等で給水に係る費用が十分に賄えており、類似団体の平均値と比較しても高い数値であり、健全な経営ができています。また、「③流動比率」で短期的な債務に対する支払能力はある(100%以上)と表示されており、現金について言えば、年々増加傾向にあります。「④企業債残高対給水収益比率」は、近年同水準で推移しており、企業債を一定水準になるよう抑えています。「⑥給水原価」は、全国平均と類似団体より低い状態にあります。これは有収水量に対して費用が抑えられている事を示しますが、今後は施設や管路の更新の増加に伴い上昇していくことが想定されます。「⑦施設利用率」は、増加傾向であり類似団体より高い水準を保っていますが、今後の人口減少や節水器具の普及等により、減少に転じていくことを踏まえ、適切な施設規模にしていくため、広域化・共同化を含め、施設の統廃合・ダウンサイジング等の検討を行う必要があります。「⑧有収率」が低く、施設稼働が収益に反映されていません。配水管の老朽化が進行し漏水が増加している可能性があります。令和7年度においても漏水箇所の特定・修繕を行っており、今後も老朽管の更新を計画的に進めていきます。

### 2. 老朽化の状況について

「①有形固定資産減価償却率」「②管路経年化率」は、年々増加傾向にあり、資産の老朽化度合が顕著に見て取れます。また、「③管路更新率」は前年度に比べ上昇しているものの類似団体の平均値を下回っており、耐震化にむけた工事が遅れていることが分かります。将来の施設更新に向けて財源確保や施設の計画的な更新を具現化するため、アセットマネジメント計画の更新(令和9年度策定予定)を行い、管路の更新ペースの見直しを行います。

## 2. 老朽化の状況



### 全体総括

本町の水道事業は、現在のところ経営上の問題はなく、健全であると判断しています。しかしながら、人口減少の影響による収益の低下、施設等の老朽化に伴う設備更新及び維持管理費等の増加が見込まれ、今後は厳しい状況が予想されます。安全な水を供給するために、施設の適正規模や広域化検討による収益の確保等、引き続き効率的な経営を目指していきます。